

二〇一六真年

いにしへの
思ひ願ひを
なしとげん
天地つなぐる
君が御霊

ひろし

悠久の時とともに

祈り続けてきた

本来、在るべき姿

全ての存在が幸せで

調和のとれた

生きる喜びに満ち溢れた世界

その切なる思い願いを

叶える時が来た

一人ひとりの

中心（核）が

一なる至高の根源と

地上を繋ぐ御柱となり

遍く照らす太陽となる